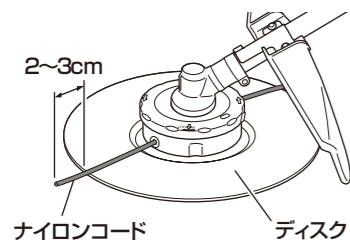


使い方

1 ナイロンコードの適正長さの確認

ご使用前に、コードがディスクより2~3cm出ていることを確認してください。

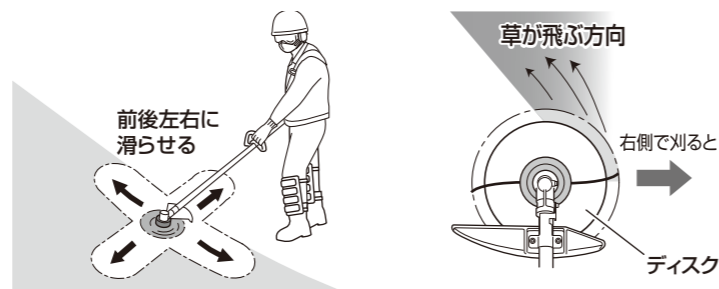
注 エンジンを始動する前に確認を行ってください。



2 エンジンを始動して、作業する

ディスクの底を地面に押し当て、前後左右に滑らせる要領で草を刈り取ってください。

ディスクの右側で刈ると、刈った草が身体から遠ざかる方向に飛びますので、服の汚れが少なくなります。



作業中、15分から20分を目安に、ナイロンコードの長さを確認してください。また、ロングナット（またはロングボルト）が緩んでいないか確認してください、ナイロンコードが摩耗して短くなった場合は、「ご使用前の準備」③④の手順でコードを引き出してください。ナイロンコードは本体に1m×2本収納していますので、1回のセットで20回ほどコード引き出し作業が可能です。ロングナット（またはロングボルト）が緩んでいるときは、増し締めし、確実に締付けてください。

保守・点検

ケースやディスクに、草やビニールひもなどがからみついたり、ケースの内側にごみが詰まったりすると、本製品の故障の原因になります。

- コード交換時、または作業中随時、ロングナット（またはロングボルト）をはずし、ごみなどを取除いてください。
- 作業開始時と作業終了後には、必ず点検をしてください。
- ロングナット（またはロングボルト）のゆるみを点検し、ゆるんでいる場合は増し締めしてください。また、傷などがありましたら新品と交換してください。
- ディスクが変形するような状態で放置しないでください。
- 本体およびディスクに燃料が掛かったら、すぐにふき取ってください。
- 長期保存する場合は、刈払機からはずして保管してください。

工機ホールディングス株式会社

白い皿 取扱説明書

ご使用前にこの取扱説明書およびご使用になるエンジン刈払機の取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

なお、この取扱説明書はエンジン刈払機の取扱説明書と一緒に、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

使用できるエンジン刈払機

当社エンジン刈払機

注 使用する刈払機の取扱説明書「刈刃の取付け」の項を確認してください。

使用できるナイロンコード

ナイロンコードは純正品を使用してください。

別売部品

① ナイロンコード
（さし込みタイプ）
（φ3.0mm×1m）10本入
コードNo.0060-0045



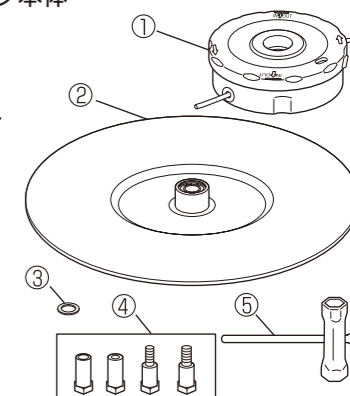
② ナイロンコード
（巻きタイプ）
（φ3.0mm×50m）
コードNo.0069-8996



※巻きタイプを使用する場合は、ご自分で任意にカットして（約1m）ご使用ください。

標準付属品

- ナイロンコードカッタ本体
（コードセット済み）
- ディスク
- ワッシャ
- 左M10ロングナット
左M8ロングナット
左M8ロングボルト
左M7ロングボルト
- ボックススパナ



※ご購入時には、純正ナイロンコード（さし込みタイプ2本）が本体にセットされています。

使用上のご注意

警告

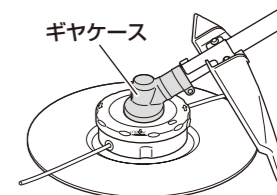
- ナイロンコードカッタの取付け、取りはずし、ナイロンコードの交換、保守・点検の際は、エンジン刈払機のエンジンを停止してから行ってください。
- ナイロンコードカッタは草刈り専用です。その他の用途には使用しないでください。
- ナイロンコードカッタは確実に取付けてください。
 - 確実に取付けしないとはずれたりして、けがの原因になります。
- 使用前にナイロンコードカッタやディスクに破損や亀裂、変形がないことを確認してください。
 - 破損や亀裂、変形があるまま使用すると、けがの原因になります。
- エンジン刈払機の飛散防護カバーを所定の位置に確実に取付けてください。
 - 小石等が飛散した場合、けがの原因になります。
- 回転中のナイロンコードカッタには、絶対に触れないでください。
 - 髪の毛や衣服なども触れないように注意してください。
- 空き缶、針金、石などの有無を確認し、ある場合は取除いてから作業してください。また、木の根や岩のあるところでの作業はしないでください。
 - ナイロンコードカッタやディスクの損傷や、けがの原因になります。
- 草などがナイロンコードカッタ本体とディスクのすき間に巻きつくとディスクが回転を始めます。故障の原因となりますので、エンジンを停止し、草などを取除いてください。

警告

- 急傾斜地では使わないでください。傾斜地で使用する場合は、等高線方向に刈り進んでください。また、ディスクが変形しないよう、傾斜に沿ってディスクを押しあててください。
- 誤って本体およびディスクを落としたり、ぶつけたりしたときは、破損や亀裂変形がないことをよく点検してください。
- 作業中に異常音、異常振動が生じたときは、直ちにエンジンを停止して、ナイロンコードカッタ本体やディスクに破損や亀裂、変形がないか等点検してください。
 - 破損や亀裂、変形があるまま使用すると、けがの原因になります。
- ナイロンコードカッタは子供の取らせないところで、落下したり衝撃が加わることがない場所にきちんと保管してください。

注意

使用直後のギヤケースは高温になりますので、ナイロンコードの長さ調整や交換の際は、十分に冷えるのを待つか、手袋等をつけてやけどをしないように注意してください。



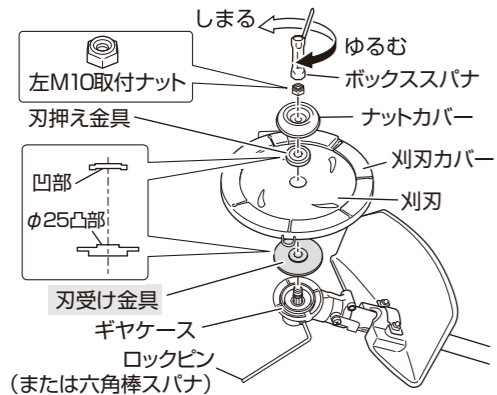
ご使用前の準備

注 左M10取付ナットを使用する刈払機を例に説明しています。本体の取付けは、使用する刈払機に応じて、標準付属のロングナットまたはロングボルトから適したものを選択してください。

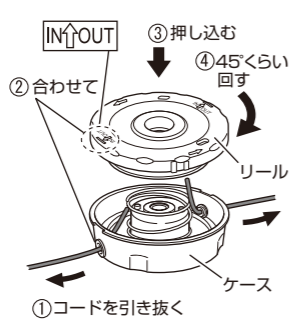
1 刈払機の先端工具をはずす

使用する刈払機の取扱説明書に従い、左M10取付ナット、ナットカバー、刃押え金具、先端工具(刈刃など)を取りはずします。刃受け金具はそのまま使います。

注 刃受け金具以外は、使用しませんので、紛失しないように保管してください。

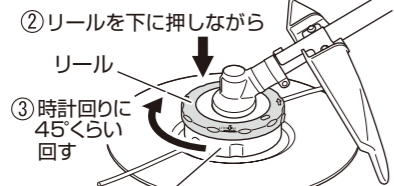


刈払機に取付ける前にケースとリールがはずれた場合は、右図の①～④の手順に従い、ケースとリールを組み直して刈払機に取付けてから、右ページの「ナイロンコードの交換方法」の②からの手順に従ってコードを取付けます。



3 リールを押し下げ、少し回す

ケースが回らないように押さえます。リールを下方向に押し下げ、時計回りに45°くらい回します。



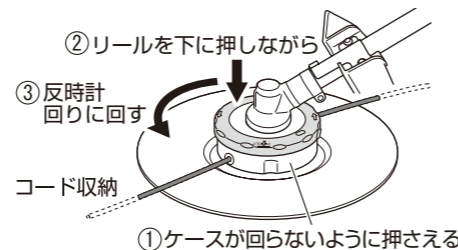
①ケースが回らないように押さえる (Press the case so it doesn't rotate)

ナイロンコードが出過ぎた場合

右図の手順で反時計回りに回すと、90°回転で2～3cmコードが収納されます。

最後に、コードを引っ張り、固定されていることを確認してください。

注 ナイロンコードが出過ぎたまま使用しないでください。エンジンに負荷がかかり、故障の原因となりますので、2本のコードはディスクより2～3cm出た状態で長さを揃えて使用してください。



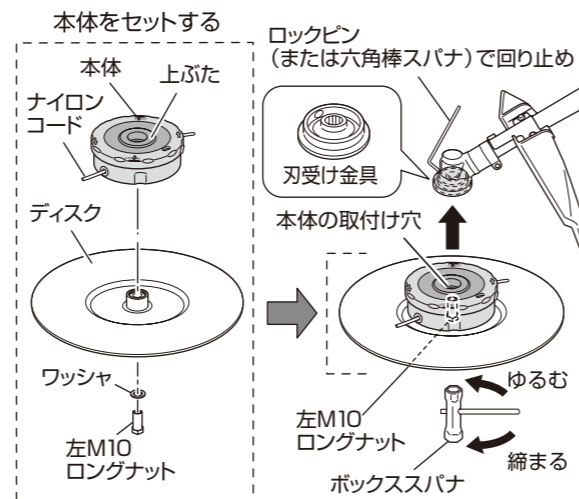
2 本体とディスクをセットして刈払機に取付ける

本体を下図のようにセットします。刈払機の刃受け金具の凸部に本体をさし込みます。

注 ・回り止めはロックピン(または六角棒スパナ)を使ってください。
・上ぶたがはずれたときは、山と谷がかみ合うようにしてかぶせてください。

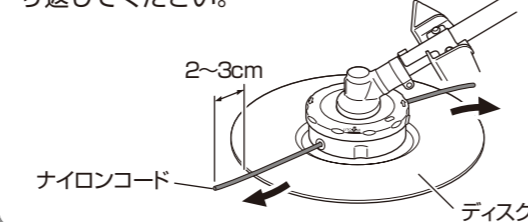
刈払機に付属のロックピン(または六角棒スパナ)で回り止めしながら、付属のボックススパナで左M10ロングナットを確実に締付けてください。取付け後、本体とディスクが各々独立して回転することを確認してください。

注 本体とディスクが共回りしたまま使用すると、故障の原因になります。



4 ナイロンコードを引っ張る

出ているコードを引っ張ると、2～3cm伸びます。ディスクより2～3cm出るまで③からの動作を繰り返してください。

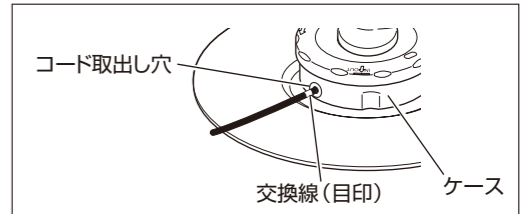


ナイロンコードの交換方法

コードの交換時期

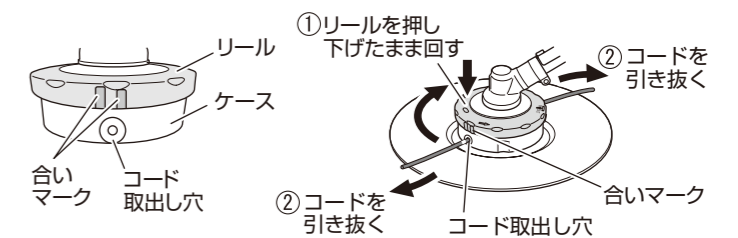
作業中にコードが抜け出した場合、または、コード繰り出し中に抜け出した場合は、新しいコードと交換してください。

注 ・ご自分でコードをカットして使用する場合、端から約35cmの位置に交換線の目印をつけることをおすすめします。この目印が現れたら、コードの交換時期です。
・片方のコードが抜け出しますと、刈払機に極端な振動が発生し故障の原因となりますので、直ちに作業を中断しエンジンを停止してください。



1 使用済みコードを引き抜く(2本)

①リールを押し下げたまま時計回りに回し、合いマークとコード取出し穴を図のように合わせてください。
②本体ケースから、使用済みコード(2本)を引き抜いてください。



2 新しいコードを入れる

①リールを押し下げたまま時計回りに回し、合いマークとコード取出し穴を図のように合わせてください。

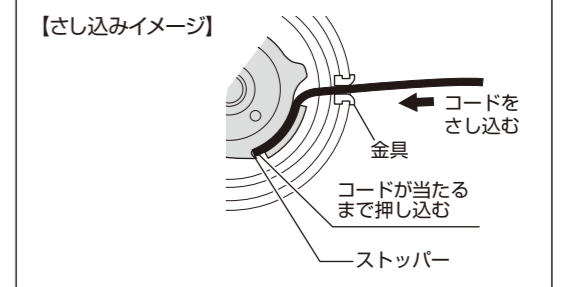
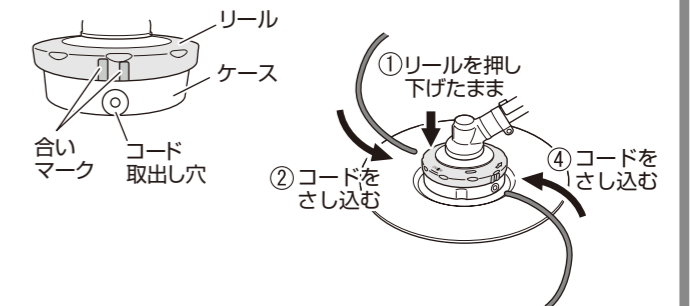
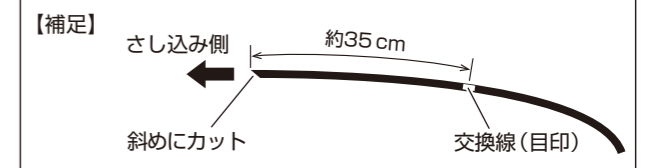
②先端から2～3cmの部分を持って、コードの巻きグセに合わせ、図の矢印方向に先端が入っていくようにします。

注 ご自分でコードをカットして使用する場合、端から35cmの位置に交換線の目印をつけることをおすすめします。

③先端から2～3cm入ったら、さらに押し込み、先端から7cm程度入ったところで、コードがストッパに突き当たり止まります。

注 コード先端が、ストッパに正しく接して止まります。ストッパで止まっていない場合は、そのままコードが奥へ入り続けます。そのときは、一度コードを引き抜いて、再度入れ直してください。

④もう1本のコードも反対側の穴に同様に入れます。



3 コードを収納する

リールを押し下げたまま反時計回りに回し、コードがディスクより2～3cm出た状態まで巻き込んでください。

